

個別の指導計画作成例

【例】様式1(児童生徒に関する記録)

個別の指導計画

作成日、最新の更新日を入力します。

作成日	令和	年	月	日
更新日	令和	年	月	日

フリガナ		性別		国籍	ブラジル	在留資格	定住者
名前	地教委からの書類や「在留カード」等を基に、正確に記入します。	生年月日	平成・令和 年(西暦 年) 月 日				
住所		連絡先					
入国年月日	令和・平成 年(西暦 年) 月 日	学校受入年月日	令和・平成 年(西暦 年) 月 日				
家族構成	名 前	続柄	国 籍	本人との言語	日本語理解の状況・備考		
		父	ブラジル	ポルトガル語	簡単な日本語での会話が可能		
		母	ブラジル	ポルトガル語	日本語での会話は困難		
		弟	ブラジル	ポルトガル語	日本語での会話は困難		

- 家庭への連絡 (該当するものを○で囲みます)
- 1 日常的な連絡について、日本語で理解できますか。 (可能・困難)
- 2 懇談会等の説明について、日本語で理解できますか。 (可能・困難)
- 3 「2」が困難な場合、通訳を帯同することができますか。 (可能・困難)

適宜、更新します。

学年	年齢	就学等の状況・期間	特記事項 (学校外での支援状況等)
	0	出身地 ブラジル	
	1	ブラジル	
	2	ブラジル	
	3	ブラジル	
	4	ブラジル	
	5	ブラジル	
	6	2月に来日 ○○市立○○こども園に入所	
小1	7	○○市立○○小学校に入学 特別の教育課程による指導	地域の日本語教室「○○」週1回
小2	8	○○市立○○小学校 特別の教育課程による指導	地域の日本語教室「○○」週1回
小3	9	9月ブラジルに帰国のため退学 (ブラジル△△小学校へ)	地域の日本語教室「○○」週1回
小4	10	3月に来日 (ブラジル△△小学校より)	
小5	11	○○市立●●小学校に編入 特別の教育課程による指導	地域の日本語教室「○○」週1回
小6	12	○○市立●●小学校卒業	地域の日本語教室「○○」週2回
中1	13	○○市立□□中学校入学	地域の日本語教室「○○」週2回
中2	14	○○市立□□中学校 ブラジルに一時帰国(9月～12月)	地域の日本語教室「○○」週2回
中3	15	○○市立□□中学校卒業	地域の日本語教室「○○」週2回
中学校卒業後の進路志望 ・全日制高校に進学し、卒業後、日本での就職を希望。 (2019.4より現在まで)		その他 (発達障害等の診断の有無、宗教上の配慮事項等) ・○○教のため、○○を食べることができない。 ・○○病院発達支援センターを受診し、「ADHD」という診断を受けた。(R2. 8)	

	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
年度	平成27	平成28	平成29	平成30	2019	令和2	令和3	令和4	令和5
在籍校	○○小	○○小	○○小	—	●●小	●●小	□□中	□□中	□□中
取り出し指導 (週 時間)	8時間	4時間	4時間	—	2時間	—	—	—	—
入り込み指導 (週 時間)	—	—	—	—	2時間	2時間	2時間	2時間	2時間

個別の指導計画作成例

個別の指導計画作成例

個別の指導計画

●作成日、最新の更新日を入力します。

【例】様式2①(指導に関する記録:「特別な教育課程」を編成する場合)

作成日	令和	年	月	日
更新日	令和	年	月	日

年組 フリガナ	年	組	作成者	国籍	母語等 (使える言語)
児童生徒名					
指導者 支援者			指導場所	取り出し 指導時数	週 時間

発達 ステ ージ	を 支 え る 言 語 の 表 現	年度当初評価		後期開始時の評価(中間評価)		指導目標(年度当初・中間評価)		年度末評価
		評価段階	各段階の特徴	評価段階	各段階の特徴	評価段階	各段階の特徴	評価段階
		B	身近なこと・経験したこと、幼児・低学年前半の内容。対話による支援を得て、おおまかに理解・表現。	B	身近なこと・経験したこと、幼児・低学年前半の内容。対話による支援を得て、おおまかに理解・表現。	B	身近なこと・経験したこと、幼児・低学年前半の内容。対話による支援を得て、おおまかに理解・表現。	B
習得 ステ ップ	日本語 の 力	聞く・話す	2	2	2	2	2	2
		読む	1	1	1	1	1	1
		書く	1	1	1	1	1	1

①「ことばの力のものさし」の「包括的なことばの発達ステージ」と「日本語の習得ステップ」を基に評価します。(別シートにデータがあります)
②ブルダウで、「ステージとステップの評価段階」や「一番高い言語・技能」を選択すると、対応する内容が表示されます。
③更に詳しく入力したい場合は、ステージやステップのシートから選び、コピーして貼り付けることができます。また、担当者が文章を作成して入力することもできます。

「特別 の 教 育 課 程」 に よ る 日 本 語 指 導	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
	①サバイバル日本語												
	②日本語基礎	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
指導計画 (日本語学習内容の内容別に、①～⑤を文頭に付けて記入することが望まれます)	③技能別日本語												
	④日本語と教科の統合学習												
	⑤教科の補習												
評価 (指導内容) (指導方法) (学習状況)等 (日本語学習内容の内容別に、①～⑤を文頭に付けて記入することが望まれます)	前期(年度当初評価)						後期(中間評価を基に)						
	②絵や図、写真等を手がかりに、分かち書きで書かれた短文を音読できるようにする。 ④長、拗、撥、促音を歌で覚え、単語をひらがなとカタカナで書けるようにする。 ④教科書本文をやさしい日本語に書き直したリライト教材を使い、内容を理解できるようにする。						②絵や図、写真等を手がかりに、カタカナや低学年で習う漢字が混じった文章を読み、大まかな内容を話したり書いたりできるようにする。 ②単語カードと定型文カードを使って、絵で意味を確認しながら発話練習を繰り返し、思いや考えを言えるようにする。 ④教科書学習に必要な単語について、やさしい日本語への言い換えによって理解できるようにしながら、教科書学習が定着するようにする。						
上記以外の 指導・課題等	前期(中間評価)						後期(年度末評価)						
	②教師や友達がゆっくりと分かりやすく話すことで、内容を聞き取り、簡単な単語をひらがなで概ね書けるようになった。 ④教科書のリライト教材を繰り返し声に出して読むことを通して、内容について分からないことを質問できるようになった。						①どのような指導の結果、どのような習得結果となったかを記入します。次年度の指導の参考となる内容を記入します。 ②前期後期の2回に分けて記載する形式です。 ③3学期制で記載する場合は、形式を変更して入力することができます。						

①実施する学習内容を、①「サバイバル日本語」、②「日本語基礎」、③「技能別日本語」、④「日本語と教科の統合学習」、⑤「教科の補習」の中から選択します。

個別の指導計画作成例

個別の指導計画作成例

個別の指導計画

●作成日、最新の更新日を入力します。

【例】様式2②(指導に関する記録:「特別な教育課程」を編成しない場合)

作成日		令和	年	月	日
更新日		令和	年	月	日

年組	年	組	国籍	
フリガナ				
児童生徒名			母語等 (使える言語)	

学年	年度当初評価			中間評価			入り込み指導 (週)	前期(中間評価)	後期(年度末評価)	年度末評価						
	発達ステージ			発達ステージ				評価(指導内容・指導方法・学習状況)等		ステージ						
	習得ステップ	習得ステップ	習得ステップ	習得ステップ	習得ステップ	習得ステップ										
	読	書	書	読	書	書				読	書	書				
小1	B	B	2	3	2	1	3	2	2	時間	・支援者に続いて1文字ずつ読むことを繰り返すことで、ひらがなを読むことができたようになった。	・対話による支援を得て、単語で区切りながら、短い文をゆっくりと読むことができたようになった。また、生活に関わる出来事を、2、3の単文で書けるようになった。	B	3	3	2
小2										時間						
小3										時間						
小4										時間						
小5										時間						
小6										時間						
中1										時間						
中2										時間						
中3										時間						

- ①「ことばの力のものさし」の「包括的なことばの発達ステージ」と「日本語指導の習得ステップ」を基に評価します。
- ②入り込み指導者は、本様式を用いて、在籍学級での学習状況等を蓄積することが大切です。
- ③転学先、進学先への引継ぎを含め、次年度の指導に活用することが望まれます。

文化的言語的に多様な背景をもつ外国人児童生徒等のための「ことばの発達と習得のものさし」

「包括的なことばの発達のステージ」の各段階の特徴

- | | |
|---|-------------------------------------------------------|
| A | 身近なこと・経験したこと、幼児・低学年前半の内容。対話による支援を得て、断片的に理解・表現 |
| B | 身近なこと・経験したこと、幼児・低学年前半の内容。対話による支援を得て、おおまかに理解・表現 |
| C | 身近なこと・経験したこと、低学年の内容。順序に沿った理解・表現、出来事作文 |
| D | 中学年の教科学習内容、基本的概念。因果関係の理解・説明、テーマ作文 |
| E | 高学年から中学の教科学習内容、抽象的概念。主題・要点の解釈、一貫性のある説明、ジャンル別作文 |
| F | 中学から高校の教科学習内容、抽象的概念、表社会の話題。多角的・批判的視点からの議論・意見、分析・評価、推敲 |

「日本語の習得ステップ」の各段階の特徴

- | | |
|---|---------------------------------------------|
| 1 | ごく限られた語、文字の習得の開始 |
| 2 | ごく限られた語、文字の習得の開始 |
| 3 | 身近な語彙・表現、単文 |
| 4 | 日常的な語彙・表現(制限あり)、単文から基礎的な重文・複文 |
| 5 | 日常的な語彙・表現(幅広い)、低学年レベルの談話・文章(自由な単文・重文・複文の生成) |
| 6 | 中学年レベルの教科学習に必要な語彙・表現、談話・文章 |
| 7 | 高学年から中学レベルの教科学習に必要な語彙・表現、談話・文章 |
| 8 | 中学から高校レベルの教科学習に必要な語彙・表現、談話・文章 |